

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号749

発生場所	病室、洗面所・浴室、トイレ	精神・意識障害の有無	無	リスク
発生場所（その他）				A. 患者による使い方・置き方のリスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
関連したもの	杖、ドア、手すり	発生内容の分類	転倒	

発生内容

病室入口スライドドアの取っ手につかまり、転倒、骨折した事例

概要

入院初日の夜間、病室入口の洗面台を使用した後、ベッドに戻る際に入口ドアの取っ手につかまったところ、スライドドアが動き、転倒、骨折した。患者は80歳代女性。杖歩行であったが、理解力はあったため、トイレ歩行の際などはナースコールで看護師を呼ぶように伝えていたが、単独で歩行していた。

要因

大部屋の入口は常時開放してあったため、ドアが開いた状態で洗面台の近くにとり手があつた。
洗面台付近に手すりがなかつた。
入院初日であつたため、患者にとって慣れない環境であつた。

対策

入院時のオリエンテーションで注意喚起しています。この報告をする際に、改めて見たところ、上記に記載したように手すりがなかつたことに気がつきました。

参照



病室入口のスライドドアが開いた状態であり、常時開いている。



ドアを閉め、病室内側から撮影したもの。入口に向かって左に洗面台があり、右側にトイレがある。4人床であり、病室内のトイレを使用した後、向かい側の洗面台で手を洗うようになっている。距離があるが、病室内に手すりはない。